ＭＳＷ－２８０８Ａ（２４１２Ａ）　Remote 制御詳細

1.Protocol

RS-232C 準拠/RS-485（Half Duplex）準拠

Stop Bit	1/2
Data Bit	8/7
Parity	Even/Odd/None
Data Rate	4,800/9,600/19,200/38,400 bit per second
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2.Write command

2-1.Answer

「ＧＯ+CR,LF」	正常受信、正常実行
「ＧＮ+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「Ｅ０+CR,LF」	Framing error
「Ｅ１+CR,LF」	Parity error
「Ｅ２+CR,LF」	Overrun error
「Ｅ３+CR,LF」	Command error

2-2.Command

2-2-1.アラーム関連

2-2-1-1.「ＡＢＯＯＦ+CR,LF」　(Alarm Buzzer Off)
アラーム状態の時に、ブザー音設定を**【ＯＦＦ】**にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-2.「ＡＢＯＯＮ+CR,LF」　(Alarm Buzzer On)
アラーム状態の時に、ブザー音設定を**【ＯＮ】**にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-3.「ＡＣＣ+CR,LF」　(Alarm Compulsion Cancel)
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラームを強制解除します。

2-2-1-4.「ＡＤＯＦ+CR,LF」　(Alarm Display Off)
アラーム状態の時に、「**ＡＬＡＲＭ**」という文字表示設定を**【ＯＦＦ】**にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-5.「ＡＤＯＮ+CR,LF」　(Alarm Display On)
アラーム状態の時に、「**ＡＬＡＲＭ**」という文字表示設定を**【ＯＮ】**にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-6.「ＡＤＴｎｎ+CR,LF」　(Alarm Duration Time nn)
アラームの保持時間を設定します。
ｎｎは、秒数で設定範囲は**【０１】**～**【９９】**です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-7.「ＡＥＬＥ+CR,LF」　(Alarm Event List Erase)
アラームのイベント・リストを消去します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-8.「ＡＩＮｎｎＩmm+CR,LF」　(Alarm Input Number nn Input ch. mm)
アラームの入力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。
ｎｎは、端子台番号で設定範囲は【０１】～【１６】です。
mmは、入力チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-9.「ＡＩNmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」
(Alarm Input Number 1～16 Input ch. mm)
アラームの入力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。
端子台番号 1～16 を連続で設定します。
mmは、入力チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-10.「ＡＩＰB+CR,LF」　(Alarm Input Polarity Break)
アラームの入力極性設定を【ＢＲＥＡＫ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-11.「ＡＩ PM+CR,LF」　(Alarm Input Polarity Make)
アラームの入力極性設定を【ＭＡＫＥ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-12.「ＡＯＳｎｎNＦＦ+CR,LF」　(Alarm Output set nn Alarm signal set 1～3 OFF/ON)
アラームの信号出力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。
ｎｎは、入力チャンネル番号で設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。
NFF は、信号出力で端子台 1～3 を連続で設定します。
Ｎは【ON】，Ｆは【ＯＦＦ】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-13.「ＡＯＳｎｆｆｎｆｆｎｆｆ．．．．+CR,LF」
(Alarm Output set nn Alarm signal set 1～3 OFF/ON)
アラームの信号出力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。
入力チャンネル 1～28（24）連続で設定します。
nff は、信号出力で端子台 1～3 を連続で設定します。
ｎは【ON】，ｆは【ＯＦＦ】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-14.「ＡＲＯＦ+CR,LF」　(Alarm Return Off)
アラーム リターンの設定を【ＯＦＦ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-15.「ＡＲＯＮ+CR,LF」　(Alarm Return On)
アラーム　リターンの設定を【ＯＮ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを
実行しません。

2-2-2.タイトル関連

2-2-2-1.「ＣＴmm＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊+CR,LF」　(Character Title input channel mm)
入力チャンネルmmのタイトルを設定します。
タイトルの文字長さは 14 文字なので 14 文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。
各文字は JIS-X0208 の 16 進数を ASCII の 4 バイトで表します。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。

2-2-2-2.「ＣＴＡＢｎｎ+CR,LF」　(Character Title Adjust Bottom nn)
キャラクタ・タイトルのボトム側表示位置の微調整設定をします。
mmは、値で調整範囲は【０１】～【１６】です。

2-2-2-3.「ＣＴＡＴｎｎ+CR,LF」　(Character Title Adjust Top nn)
キャラクタ・タイトルのトップ側表示位置の微調整設定をします。
mmは、値で調整範囲は【０１】～【１６】です。

2-2-2-4.「ＣＴＩmmＯＦ+CR,LF」　(Character Title Input mm Off)
入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【ＯＦＦ】にします。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。

2-2-2-5.「ＣＴＩmmＯＮ+CR,LF」　(Character Title Input mm On)
入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【ＯＮ】にします。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。

2-2-2-6.「ＣＴＩＡＯＦ+CR,LF」　(Character Title Input All Off)
全入力チャンネルのタイトル表示設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-2-7.「ＣＴＩＡＯＮ+CR,LF」　(Character Title Input All On)
全入力チャンネルのタイトル表示設定を【ＯＮ】にします。

2-2-2-8.「ＣＴＩｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」
(Character Title Input ch. 01～28（24）　Off/On)
全入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。
ｏは、表示設定で F/N です。
Ｆは【ＯＦＦ】，Ｎは【ＯＮ】です。
入力チャンネル 1 から 28（24）まで連続で表示/非表示を設定します。

2-2-2-9.「ＣＴＯｎｎＯＦ+CR,LF」　(Character Title Input nn Off)
出力チャンネルｎｎのタイトル表示設定を【ＯＦＦ】にします。
ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】（【１２】）です。

2-2-2-10.「ＣＴＯｎｎＯＮ+CR,LF」　(Character Title Input nn On)
出力チャンネルｎｎのタイトル表示設定を【ＯＮ】にします。
ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】（【１２】）です。

2-2-2-11.「ＣＴＯＡＯＦ+CR,LF」　(Character Title Input All Off)
全出力チャンネルのタイトル表示設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-2-12.「ＣＴＯＡON+CR,LF」　(Character Title Input All On)
全出力チャンネルのタイトル表示設定を**【ON】**にします。

2-2-2-13.「ＣＴＯｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」　(Character Title Output ch. 01～08 (12) Off/On)
全出力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。
ｏは、表示設定で F/N です。
Ｆは**【OFF】**，Ｎは**【ON】**です。
出力チャンネル１から８（12）まで連続で表示/非表示を設定します。

2-2-2-14.「ＣＴＰＩmmB+CR,LF」　(Character Title Position Input channel mm Bottom)
入力チャンネルmmのタイトル表示位置を**【BOTTOM】**に設定します。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は**【01】**～**【28】**（**【24】**）です。

2-2-2-15.「ＣＴＰＩmmT+CR,LF」　(Character Title Position Input channel mm Top)
入力チャンネルmmのタイトル表示位置を**【TOP】**に設定します。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は**【01】**～**【28】**（**【24】**）です。

2-2-2-16.「ＣＴＰＩＡB+CR,LF」　(Character Title Position Input All channel Bottom)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を**【BOTTOM】**に設定します。

2-2-2-17.「ＣＴＰＩＡT+CR,LF」　(Character Title Position Input All channel Top)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を**【TOP】**に設定します。

2-2-2-18.「ＣＴＰＩｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐp+CR,LF」
(Character Title Position Input ch. 01～28 (24)　Bottom/Top)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を設定します。
ｐは、表示位置設定で B/T です。
Ｂは**【BOTTOM】**，Ｔは**【TOP】**です。
入力チャンネル１から 28（24）まで連続で表示位置を設定します。

2-2-3.日付,時刻

2-2-3-1.「ＤＳＤｎｎ+CR,LF」　(Date Set Day)
日付の日の単位を設定します。
ｎｎは設定値で範囲は**【01】**～**【31】**です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡRM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-2.「ＤＳMｎｎ+CR,LF」　(Date Set Month)
日付の月の単位を設定します。
ｎｎは設定値で範囲は**【01】**～**【12】**です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡRM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-3.「ＤＳＹｎｎ+CR,LF」　(Date Set Year)
日付の年の単位を設定します。
ｎｎは設定値で範囲は**【00】**～**【99】**です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡRM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-4.「ＴＳA+CR,LF」　(Time Set Adjust)
時刻の秒の単位を００に設定します。
その時の時刻が３０秒未満の場合００秒に合わせます。
その時の時刻が３０秒以上の場合００秒に合わせ分の単位を＋１します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡRM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-5.「ＴＳＨｎｎ+CR,LF」　(Time Set Hour)
時刻の時の単位の設定をします。
ｎｎは設定値で範囲は【００】～【２３】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡRM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-6.「ＴＳＭｎｎ+CR,LF」　(Time Set Minute)
時刻の分の単位の設定をします。
ｎｎは設定値で範囲は【００】～【５９】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡRM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-7.「ＴＳＳｎｎ+CR,LF」　(Time Set Second)
時刻の秒の単位の設定をします。
ｎｎは設定値で範囲は【００】～【５９】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡRM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-4.日付,時刻の表示関連

2-2-4-1.「ＴＳＤＲｎ+CR,LF」　(Time Signal Display Range n)
時刻表示のレンジ設定をｎにします。
１は【YMDHMS】　年月日時分秒　です。
２は【YMDHM　】　年月日時分　　です。
３は【YMD　　】　年月日　　です。
４は【　MDHMS】　　月日時分秒　です。
５は【　MDHM　】　　月日時分　　です。
６は【　MD　　】　　月日　　です。
７は【　　HMS】　　時分秒　です。
８は【　　HM　】　　時分　　です。

2-2-4-2.「ＴＳＤＳN+CR,LF」　(Time Signal Display Size Normal)
時刻表示のサイズ設定を【NORMAL】にします。
※MSW-2808A / MSW-2412A のバージョンが 3.00 以降の場合、このコマンドは使用できません。

2-2-4-3.「ＴＳＤＳＳ+CR,LF」　(Time Signal Display Size Small)
時刻表示のサイズ設定を【SMALL】にします。
※MSW-2808A / MSW-2412A のバージョンが 3.00 以降の場合、このコマンドは使用できません。

2-2-4-4.「ＴＳＩｎｎＯF+CR,LF」　(Time Signal Input ch. nn Off)
入力チャンネルｎｎの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。
ｎｎは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。

2-2-4-5.「ＴＳＩｎｎON+CR,LF」　(Time Signal Input ch. nn On)
入力チャンネルｎｎの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。
ｎｎは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。

2-2-4-6.「ＴＳＩＡＯF+CR,LF」 （Time Signal Input All ch. Off）
全入力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を**【ＯＦＦ】**にします。

2-2-4-7.「ＴＳＩＡON+CR,LF」 （Time Signal Input All ch. On）
全入力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を**【ON】**にします。

2-2-4-8.「ＴＳＩｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏo+CR,LF」
（Time Signal Input ch. 01～28（24） Off/On）
全入力チャンネルの日付け,時刻表示/非表示を設定します。
ｏは、表示設定で F/N です。
Fは**【ＯＦＦ】**で、Nは**【ON】**です。
入力チャンネル１から 28（24）まで連続で設定します。

2-2-4-9.「ＴＳＯｎｎＯF+CR,LF」 （Time Signal Output ch. nn Off）
出力チャンネルｎｎの日付け,時刻表示の設定を**【ＯＦＦ】**にします。
ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は**【０１】**～**【０８】**（**【１２】**）です。

2-2-4-10.「ＴＳＯｎｎON+CR,LF」 （Time Signal Output ch. nn On）
出力チャンネルｎｎの日付け,時刻表示の設定を**【ON】**にします。
ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は**【０１】**～**【０８】**（**【１２】**）です。

2-2-4-11.「ＴＳＯＡＯF+CR,LF」 （Time Signal Output All ch. Off）
全出力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を**【ＯＦＦ】**にします。

2-2-4-12.「ＴＳＯＡON+CR,LF」 （Time Signal Output All ch. On）
全出力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を**【ON】**にします。

2-2-4-13.「ＴＳＯｏｏｏｏｏｏｏｏｏo+CR,LF」 （Time Signal Output ch. 1～8（12） Off/On）
全出力チャンネルの日付け,時刻表示/非表示を設定します。
ｏは、表示設定で F/N です。
Fは**【ＯＦＦ】**で、Nは**【ON】**です。
出力チャンネル１から８（12）まで連続で表示/非表示を設定します。

2-2-5.ファンクション キー関連

2-2-5-1.「ＦＫ１ＭＳＰｎn+CR,LF」 （Function Key 1 Mode Sequence Pattern nn）
ファンクション・キー1 のモード設定をシーケンス・パターンｎｎにします。
ｎｎは、パターン番号で設定範囲は**【０１】**～**【６４】**です。

2-2-5-2.「ＦＫ１Ｏｎn+CR,LF」 （Function Key 1 Output ch. nn）
ファンクション・キー1 の出力チャンネル設定をｎｎにします。
nn は、出力チャンネル番号で設定範囲は**【０１】**～**【０８】**（**【１２】**）です。

2-2-5-3.「ＦＫ２ＭＳＰｎn+CR,LF」 （Function Key 2 Mode Sequence Pattern nn）
ファンクション・キー2 のモード設定をシーケンス・パターンｎｎにします。
ｎｎは、パターン番号で設定範囲は**【０１】**～**【６４】**です。

2-2-5-4.「ＦＫ２Ｏｎn+CR,LF」 （Function Key 2 Output ch. nn）
ファンクション・キー2 の出力チャンネル設定をｎｎにします。
ｎｎは、出力チャンネル番号で設定範囲は**【０１】**～**【０８】**（**【１２】**）です。

2-2-6.出力設定関連

2-2-6-1.「ＯｎｎＩmm+CR,LF」　(Output ch. nn　Input ch. mm)
出力チャンネルｎｎを入力チャンネルmmに設定します。
ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】（【１２】）です。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。

2-2-6-2.「ＯｎｎＳmm+CR,LF」　(Output ch. nn　Sequence pattern no. mm)
出力チャンネルｎｎをシーケンス・パターン番号mmに設定します。
ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は【０１】～【０８】（【１２】）です。
mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。

2-2-6-3.「ＯＡＩmm+CR,LF」　(Output All ch.Input ch. mm)
全出力チャンネルを入力チャンネルmmに設定します。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。

2-2-6-4.「ＯＡＳmm+CR,LF」　(Output All ch.Sequence pattern no. mm)
全出力チャンネルをシーケンス・パターンmmに設定します。
mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。

2-2-6-5.「ＯＰｎｎ+CR,LF」　(Output Pattern no. nn)
全出力チャンネルをアウトプット・パターン番号ｎｎに設定します。
ｎｎは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。

2-2-6-6.「ＯＰＦＲ+CR,LF」　(Output Pattern FREE)
アウトプット・パターンを【ＦＲＥＥ】に設定します。

2-2-6-7.「ＯＰｎｎＡｌmm+CR,LF」　(Output Pattern no. nn All Input no. mm)
アウトプット・パターンのｎｎの全出力チャンネルを同一の入力チャンネルmmに設定します。
ｎｎは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）　です。

2-2-6-8.「ＯＰｎｎＡＳmm+CR,LF」　(Output Pattern no. nn All Sequence pattern no. mm)
アウトプット・パターンのｎｎの全出力チャンネルを同一のシーケンス・パターン番号mmに設定します。
ｎｎは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。
mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。

2-2-6-9.「ＯＰｎｎｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmm+CR,LF」
(Output Pattern nn Input lmm)
アウトプット・パターンの全出力チャンネルを入力チャンネルｌmmに連続で設定します。
ｎｎは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。
ｌmmは、入力チャンネルで設定範囲は
【Ｉ０１】～【Ｉ２８】（【Ｉ２４】）　入力チャンネル 01～28（24）
【Ｓ０１】～【Ｓ６４】　　シーケンス・パターン番号 01～64 です。

2-2-6-10.「ＯＳｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmm+CR,LF」
(Output Set 1～8（12）　Input lmm)
全出力チャンネルを入力チャンネルｌmmに設定します。
ｌmmは、入力チャンネルで設定範囲は
【Ｉ０１】～【Ｉ２８】（【Ｉ２４】）　入力チャンネル 01～28（24）
【Ｓ０１】～【Ｓ６４】　　シーケンス・パターン番号 01～64 です。

2-2-7.パスワード関連

2-2-7-1.「ＰＭＯＦ+CR,LF」　(Password Menu Off)
パスワード・メニューの設定を【ＯＦＦ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-2.「ＰＭＯＮ+CR,LF」　(Password Menu On)
パスワード・メニューの設定を【ON】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-3.「ＰＮｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」　(Password Number nnnnnn)
パスワード・ナンバーの設定を【ｎｎｎｎｎｎ】にします。
範囲は【００００００】～【９９９９９９】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-4.「ＰＯＯＦ+CR,LF」　(Password Operation Off)
パスワード・オペレーションの設定を【ＯＦＦ】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-5.「ＰＯＯＮ+CR,LF」　(Password Operation On)
パスワード・オペレーションの設定を【ON】にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8.自動切換えパターン関連

2-2-8-1.「ＳＰｎｎＡｓｓ+CR,LF」　(Sequence Pattern no. nn,All ch. ss second)
シーケンス・パターン番号ｎｎの全入力チャンネルのシーケンス時間を同じ値に設定します。
ｎｎは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。
ｓｓは、秒数で設定範囲は【０１】～【９９】です。

2-2-8-2.「ＳＰｎｎＬＡｓｓ+CR,LF」　(Sequence Pattern no. nn,Live All ch. ss second)
シーケンス・パターン番号ｎｎの０秒設定以外のチャンネルのシーケンス時間を同じ値に設定します。
ｎｎは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。
ｓｓは、秒数で設定範囲は【０１】～【９９】です。

2-2-8-3.「ＳＰｎｎｍｍｓｓ+CR,LF」　(Sequence Pattern no. nn,input ch. mm,ss second)
シーケンス・パターン番号ｎｎの入力チャンネルmmのシーケンス時間を設定します。
ｎｎは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【０１】～【６４】です。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】（【２４】）です。
ｓｓは、秒数で設定範囲は【００】～【９９】です。
【００】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。
※全てのチャンネルを【００】秒設定にする事は、できません。

2-2-8-4.「ＳＰｎｎｓｓ+CR,LF」

（Sequence Pattern no. nn,input ch. 01～28（24）,ss second）

シーケンス・パターン番号ｎｎの全入力チャンネルのシーケンス時間を設定します。

ｎｎは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は**【０１】**～**【６４】**です。

ｓｓは、秒数で設定範囲は**【００】**～**【９９】**です。

【００】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。

入力チャンネル１から28（24）まで時間を２桁づつ連続で設定します。

※全てのチャンネルを**【００】**秒設定にする事は、できません。

2-2-9.初期化関連

2-2-9-1.「ＤＳＮ+CR,LF」　（Default Set Normal）

タイトルを除く設定値を初期値に戻します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-9-2.「ＤＳＳ+CR,LF」　（Default Set Special）

全ての設定値を初期値に戻します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

「Ｅ０+CR,LF」	Framing error
「Ｅ１+CR,LF」	Parity error
「Ｅ２+CR,LF」	Overrun error
「Ｅ３+CR,LF」	Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「ＲＡＢＯ+CR,LF」　（Read Alarm Buzzer Out）

アラーム時のブザー出力の設定を返します。

「ＡＢＯＯＦ+CR,LF」　**【ＯＦＦ】**

「ＡＢＯＯＮ+CR,LF」　**【ＯＮ】**

3-2-1-2.「ＲＡＤ+CR,LF」　（Read Alarm Display）

アラーム時の「ＡＬＡＲＭ」文字表示の設定を返します。

「ＡＤＯＦ+CR,LF」　**【ＯＦＦ】**

「ＡＤＯＮ+CR,LF」　**【ＯＮ】**

3-2-1-3.「ＲＡＤＴ+CR,LF」　（Read Alarm Duration Time）

アラームの保持時間の設定を返します。

「ＡＤＴ０１+CR,LF」～「ＡＤＴ９９+CR,LF」　**【０１】**～**【９９】**

3-2-1-4.「ＲＡＥＬｎｎｎ+CR,LF」　（Read Alarm Event List no. nnn）

アラーム・イベントのリスト内容を返します。

「ＡＥＬｎｎｎ　ｙｙ．mm．ｄｄ　ｈｈ：ｍｉ：ｓｓ+CR,LF」

ｎｎｎは、リスト番号で設定範囲は**【００１】**～**【９６０】**です。

ｙｙは年，mmは月，ｄｄは日，ｈｈは時，ｍｉは分，ｓｓは秒を表します。

3-2-1-5.「ＲＡＥＬC+CR,LF」　(Read Alarm Event List Count)
アラーム・イベントのリスト件数を返します。
「ＡＥＬCｎｎｎ+CR,LF」
ｎｎｎは、リストの件数で値は【００１】～【９６０】です。

3-2-1-6.「ＲＡＩN+CR,LF」　(Read Alarm Input Number)
アラームの端子台入力に割り付けたチャンネルの設定を返します。
「ＡＩNmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」
mmは、チャンネル番号で値は【０１】～【２８】(【２４】)です。
端子台の 1～16 に設定されたチャンネル番号を連続で返します。

3-2-1-7.「ＲＡＩNｎｎ+CR,LF」　(Read Alarm Input Number nn)
アラームの端子台入力ｎｎに割り付けたチャンネルの設定を返します。
「ＡＩNｎｎＩmm+CR,LF」
ｎｎは、端子台番号で値は【０１】～【１６】です。
mmは、チャンネル番号で値は【０１】～【２８】(【２４】)です。

3-2-1-8.「ＲＡＩP+CR,LF」　(Read Alarm Input Polarity)
アラーム入力極性の設定を返します。
「ＡＩＰB+CR,LF」　【ＢＲＥＡＫ】
「ＡＩPM+CR,LF」　【ＭＡＫＥ】

3-2-1-9.「ＲAOＳ+CR,LF」　(Read Alarm Output Set)
アラームの出力設定を返します。
「AOSｎｆｆｎｆｆｎｆｆｎｆｆｎｆｆｎｆｆｎｆｆｎｆｆ+CR,LF」
ｎｆｆはアラーム入力チャンネルに対するアラーム出力 1～3 を表します。
ｆは【ＯＦＦ】で、ｎは【ＯＮ】です。
全ての出力チャンネル 1～28 (24) の設定を連続で返します。

3-2-1-10.「ＲAOＳｎｎ+CR,LF」　(Read Alarm Output Set)
アラームの出力設定を返します。
「AOSmmｎｆｆ+CR,LF」
mmは出力チャンネル番号で、設定範囲は【０１】～【２８】(【２４】)です。
ｎｆｆは、チャンネル番号mmに対するアラーム出力 1～3 を表します。
ｆは【ＯＦＦ】で、ｎは【ＯＮ】です。

3-2-1-11.「ＲAR+CR,LF」　(Read Alarm Return)
アラーム・リターンの設定を返します。
「ＡROF+CR,LF」　【ＢＲＥＡＫ】
「ＡRON+CR,LF」　【ＭＡＫＥ】

3-2-2.タイトル関連

3-2-2-1.「ＲＣＴmm+CR,LF」　(Read Character Title input ch. mm)
入力チャンネル mm のタイトルを返します。
「ＣＴmm＊＊+CR,LF」
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【０１】～【２８】(【２４】)です。
各文字は JIS-X0208 の 16 進数を ASCII の 4 バイトで表します。

3-2-2-2.「ＲＣＴＡＢ+CR,LF」 （Read Character Title Adjust Bottom）

タイトル表示微調整のボトム側の設定を返します。

「ＣＴＡＢｎｎ+CR,LF」

ｎｎは、設定値で【**０１**】～【**１６**】です。

3-2-2-3.「ＲＣＴＡＴ+CR,LF」 （Read Character Title Adjust Top Bottom）

タイトル表示微調整のトップ側の設定を返します。

「ＣＴＡＴｎｎ+CR,LF」

ｎｎは、設定値で【**０１**】～【**１６**】です。

3-2-2-4.「ＲＣＴＩ+CR,LF」 （Read Character Title Input ch. 01～28）

全入力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。

「ＣＴＩｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」

ｏは、表示設定で F/N です。

Ｆは【**ＯＦＦ**】で、Ｎは【**ON**】です。

入力チャンネル１から 28（24）まで連続で設定を返します。

3-2-2-5.「ＲＣＴＩmm+CR,LF」 （Read Character Title Input ch. mm）

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を返します。

「ＣＴＩmmＯＦ+CR,LF」 【**ＯＦＦ**】

「ＣＴＩmmON+CR,LF」 【**ON**】

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【**０１**】～【**２８**】（【**２４**】）です。

3-2-2-6.「ＲＣＴO+CR,LF」 （Read Character Title Output ch. 01～08）

全出力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。

「ＣＴＯｏｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」

ｏは、表示設定で F/N です。

Ｆは【**ＯＦＦ**】で、Ｎは【**ON**】です。

出力チャンネル１から８（12）まで連続で設定を返します。

3-2-2-7.「ＲＣＴＯｎｎ+CR,LF」 （Read Character Title Output ch. nn）

出力チャンネルｎｎのタイトル表示設定を返します。

「ＣＴＯｎｎＯＦ+CR,LF」 【**ＯＦＦ**】

「ＣＴＯｎｎON+CR,LF」 【**ON**】

ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は【**０１**】～【**０８**】（【**１２**】）です。

3-2-2-8.「ＲＣＴＰＩ+CR,LF」 （Read Character Title Position Input）

キャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。

「ＣＴＰＩｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐｐ+CR,LF」

ｐは、設定で B/T です。

Ｂは【**BOTTOM**】で、Ｔは【**ＴＯＰ**】です。

入力チャンネルで 1～28（24）まで連続で設定を返します。

3-2-2-9.「ＲＣＴＰＩmm+CR,LF」 （Read Character Title Position Input ch. mm）

チャンネルmmのキャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。

「ＣＴＰＩmmB+CR,LF」 【**BOTTOM**】

「ＣＴＰＩmmT+CR,LF」 【**ＴＯＰ**】

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【**０１**】～【**２８**】（【**２４**】）です。

3-2-3.日付,時刻

3-2-3-1.「ＲＴＤ+CR,LF」　(Read Time & Date)
マトリックス・スイッチャ（MSW-2808A/2412A）の日付&時刻を返します。
「ｙｙ．mm．ｄｄ　ｈｈ：MM：ｓｓ+CR,LF」
ｙｙ=年　mm=月　ｄｄ=日　ｈｈ=時　MM=分　ｓｓ=秒

3-2-4.日付,時刻の表示

3-2-4-1.「ＲＴＳＤＲ+CR,LF」　(Read Time Signal Display Range)
時刻表示のレンジ設定を返します。
「ＴＳＤＲm+CR,LF」
mは、設定値で
１は**【YMDHMS】**　年月日時分秒　です。
２は**【YMDHM　】**　年月日時分　です。
３は**【YMD　　】**　年月日　です。
４は**【　MDHMS】**　月日時分秒　です。
５は**【　MDHM　】**　月日時分　です。
６は**【　MD　　】**　月日　です。
７は**【　　HMS】**　時分秒　です。
８は**【　　HM　】**　時分　です。

3-2-4-2.「ＲＴＳＤＳ+CR,LF」　(Read Time Signal Display Size)
時刻表示のサイズ設定を返します。
「ＴＳＤＳN+CR,LF」　**【NORMAL】**
「ＴＳＤＳＳ+CR,LF」　**【SMALL】**
※MSW-2808A / MSW-2412A のバージョンが 3.00 以降の場合、このコマンドは使用できません。

3-2-4-3.「ＲＴＳＩ+CR,LF」　(Read Time Signal Input ch.)
全入力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。
「ＴＳＩｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」
ｏは、表示設定で F/N です。
Ｆは**【OFF】**で，Ｎは**【ON】**です。
入力チャンネル１から 28（24）まで連続で設定を返します。

3-2-4-4.「ＲＴＳＩｎｎ+CR,LF」　(Read Time Signal Input ch. nn)
入力チャンネルｎｎの日付け,時刻表示の設定を返します。
「ＴＳＩｎｎＯＦ+CR,LF」　**【OFF】**
「ＴＳＩｎｎON+CR,LF」　**【ON】**
ｎｎは、入力チャンネルで設定範囲は**【01】**～**【28】**（**【24】**）です。

3-2-4-5.「ＲＴＳO+CR,LF」　(Read Time Signal Output ch.)
全出力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。
「ＴＳOｏｏｏｏｏｏｏｏ+CR,LF」
ｏは、表示設定で【F/N です。
Ｆは**【OFF】**で、Ｎは**【ON】**です。
出力チャンネル１から８（12）まで連続で設定を返します。

3-2-4-6.「ＲＴＳOｎｎ+CR,LF」　(Read Time Signal Output ch. nn)
出力チャンネルｎｎの日付け,時刻表示の設定を返します。
「ＴＳOｎｎＯＦ+CR,LF」　**【OFF】**
「ＴＳOｎｎON+CR,LF」　**【ON】**
ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は**【01】**～**【08】**（**【12】**）です。

3-2-5.ファンクション キー関連

3-2-5-1.「ＲＦＫ１M+CR,LF」　(Read Function Key 1 Mode)
ファンクション・キー １のモード設定を返します。
「ＦＫ１ＭＳＰ０１+CR,LF」～「ＦＫ１ＭＳＰ６４+CR,LF」**【ＳＰ０１】～【ＳＰ６４】**

3-2-5-2.「ＲＦＫ１O+CR,LF」　(Read Function Key 1 Out)
ファンクション・キー １のアウト・チャンネル設定を返します。
「ＦＫ１Ｏ０１+CR,LF」～「ＦＫ１Ｏ０８+CR,LF」**【０１】～【０８】（【１２】）**

3-2-5-3.「ＲＦＫ２M+CR,LF」　(Read Function Key 2 Mode)
ファンクション・キー ２のモード設定を返します。
「ＦＫ２ＭＳＰ０１+CR,LF」～「ＦＫ１ＭＳＰ６４+CR,LF」**【ＳＰ０１】～【ＳＰ６４】**

3-2-5-4.「ＲＦＫ２O+CR,LF」　(Read Function Key 2 Out)
ファンクション・キー １のアウト・チャンネル設定を返します。
「ＦＫ２Ｏ０１+CR,LF」～「ＦＫ２Ｏ０８+CR,LF」**【０１】～【０８】（【１２】）**

3-2-6.出力設定関連

3-2-6-1.「ＲＯｎｎ+CR,LF」　(Read Output ch. nn)
出力チャンネルｎｎの入力チャンネルを返します。
「ＯｎｎＩmm+CR,LF」/「ＯｎｎＳmm+CR,LF」
ｎｎは、出力チャンネルで設定範囲は**【０１】～【０８】（【１２】）**です。
Ｉmmは、入力チャンネルで**【０１】～【２８】（【２４】）**です。
Ｓmmは、シーケンス・パターン番号で**【０１】～【６４】**です。

3-2-6-2.「ＲＯＣＤ+CR,LF」　(Read Output Channel Data)
現在、出力されている入力チャンネルを返します。
オートシーケンスの場合、その時のチャンネルを返します
「ＯＣＤmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」
mmは、入力チャンネルです。
【０１】～【２８】（【２４】）　　入力チャンネル 01～28（24）
出力チャンネル１から８（12）まで連続で設定を返します。

3-2-6-3.「ＲＯＰ+CR,LF」　(Read Output Pattern no.)
現在のアウトプット・パターン番号を返します。
「ＯＰｎｎ+CR,LF」,「ＯＰＦＲ+CR,LF」
ｎｎは、パターン番号で**【００】**は「ＯＰ」コマンド未使用
【０１】～【６４】 はパターン番号 01～64 です。
ＦＲは、**【ＦＲＥＥ】**です

3-2-6-4.「ＲＯＰｎｎ+CR,LF」　(Read Output Pattern no. nn)
アウトプット・パターンｎｎの設定チャンネルを返します。
「ＯＰｎｎｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmm+CR,LF」
ｌmmは、入力チャンネルで
【Ｉ０１】～【Ｉ２８】（【Ｉ２４】）　入力チャンネル 01～28（24）
【Ｓ０１】～【Ｓ６４】　　シーケンス・パターン番号 01～64
です。
出力チャンネル１から８（12）まで連続で設定を返します。

3-2-6-5.「ＲＯＳ+CR,LF」（Read Output Set）
現在、設定されている出力チャンネルに対する入力チャンネルを返します。
「ＯＳｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmmｌmm+CR,LF」
ｌmmは、入力チャンネルで
【Ｉ０１】～【Ｉ２８】（【Ｉ２４】） 入力チャンネル01～28（24）
【Ｓ０１】～【Ｓ６４】 シーケンス・パターン番号01～64
です。
出力チャンネル１から８（12）まで連続で設定を返します。

3-2-7.パスワード関連

3-2-7-1.「ＲPM+CR,LF」（Read Password Menu）
パスワード・メニューの設定を返します。
「PMOＦ+CR,LF」 **【ＯＦＦ】**
「PMON+CR,LF」 **【ON】**

3-2-7-2.「ＲＰN+CR,LF」（Read Password Number）
パスワード・ナンバーの設定を返します。
「PNｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」 **【０００００００】～【９９９９９９】**

3-2-7-3.「ＲＰO+CR,LF」（Read Password Operation）
パスワード・オペレーションの設定を返します。
「POOＦ+CR,LF」 **【ＯＦＦ】**
「POON+CR,LF」 **【ON】**

3-2-8.自動切換えパターン関連

3-2-8-1.「ＲＳＰｎｎ+CR,LF」（Read Sequence Pattern no. no. nn）
シーケンス・パターン番号ｎｎの全入力チャンネルのシーケンス時間を返します。単位は秒です。
「ＳＰｎｎｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓ
ｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓ+CR,LF」
ｎｎは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は**【０１】～【６４】**です。
ｓｓは、秒数で**【００】～【９９】**です。
入力チャンネル１から28（24）まで時間を２桁づつ連続で返します。

3-2-8-2.「ＲＳＰｎｎmm+CR,LF」（Read Sequence Pattern no. nn,input ch. mm）
シーケンス・パターン番号ｎｎの入力チャンネルmmのシーケンス時間を返します。単位は秒です。
「ＳＰｎｎmm００+CR,LF」～「ＳＰｎｎmm６０+CR,LF」 **【００】～【９９】**
ｎｎは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は**【０１】～【６４】**です。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は**【０１】～【２８】（【２４】）**です。

3-2-9.バージョン情報

3-2-9-1.「ＲVN+CR,LF」（Read Version Number）
MSW-2808A（2412A）のバージョン番号を返します。
「MSW－２８０８Ａ Ｖ ＊．＊＊+CR,LF」
「MSW－２８１２Ａ Ｖ ＊．＊＊+CR,LF」
＊は、数値で**【０】～【９】**です。

4.ご注意

Command の発行を連続で行う場合 200mseconds.以上の間隔をあけて下さい。
タイトル・キャラクタ設定（ＣＴ Command）の発行を連続で行う場合 500mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

JIS X0208 第 1 水準は 3,562 文字で
0x222f～0x2239,0x2242～0x2249,0x2251～0x225b,0x226b～0x2271,0x227a～0x227d,
0x2321～0x232f,0x233a～0x2340,0x235b～0x2360,0x237b～0x237e,0x2474～0x247e,
0x2577～0x257e,0x2639～0x2640,0x2659～0x267e,0x2742～0x2750,0x2772～0x277e,
0x2841～0x2f7e,0x4f54～0x4f7e
のコードは除きます。

JIS X0208 第 2 水準は 3,390 文字で 0x7427～0x7e7e のコードは除きます。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。
Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5.変更履歴

2011.05.20 「5.変更履歴」追加。
2011.07.06 2-2-8-2.「ＳＰｎｎＬＡｓｓ+CR,LF」追加
2017.11.13 ASCII Code 表 ‘ － ’ 02BH を 02DH に修正
2023.02.03 MSW-2808A / MSW-2412A のバージョンアップによる機能変更に伴い、ver.3.00 以降では以下のコマンドが使用不可となる注釈を追加。
2-2-4-2. 「ＴＳＤＳN+CR,LF」
2-2-4-3.「ＴＳＤＳＳ+CR,LF」
3-2-4-2.「ＲＴＳＤＳ+CR,LF」

ASCII Code 表（１６進）

SPACE	０２０H	a	０６１H	タ	０C０H
		b	０６２H	チ	０C１H
：	０３AH	c	０６３H	ツ	０C２H
＜	０３CH	d	０６４H	テ	０C３H
＞	０３EH	e	０６５H	ト	０C４H
ー	０２DH	f	０６６H		
．	０２EH	g	０６７H	ナ	０C５H
／	０２FH	h	０６８H	ニ	０C６H
		i	０６９H	ヌ	０C７H
０	０３０H	j	０６AH	ネ	０C８H
１	０３１H	k	０６BH	ノ	０C９H
２	０３２H	l	０６CH		
３	０３３H	m	０６DH	ハ	０CAH
４	０３４H	n	０６EH	ヒ	０CBH
５	０３５H	o	０６FH	フ	０CCH
６	０３６H	p	０７０H	ヘ	０CDH
７	０３７H	q	０７１H	ホ	０CEH
８	０３８H	r	０７２H		
９	０３９H	s	０７３H	マ	０CFH
		t	０７４H	ミ	０D０H
A	０４１H	u	０７５H	ム	０D１H
B	０４２H	v	０７６H	メ	０D２H
C	０４３H	w	０７７H	モ	０D３H
D	０４４H	x	０７８H		
E	０４５H	y	０７９H	ヤ	０D４H
F	０４６H	z	０７AH	ィ	０A８H
G	０４７H			ユ	０D５H
H	０４８H	ア	０B１H	ェ	０AAH
I	０４９H	イ	０B２H	ヨ	０D６H
J	０４AH	ウ	０B３H		
K	０４BH	エ	０B４H	ラ	０D７H
L	０４CH	オ	０B５H	リ	０D８H
M	０４DH			ル	０D９H
N	０４EH	カ	０B６H	レ	０DAH
O	０４FH	キ	０B７H	ロ	０DBH
P	０５０H	ク	０B８H		
Q	０５１H	ケ	０B９H	ワ	０DCH
R	０５２H	コ	０BAH	ン	０DDH
S	０５３H			ッ	０AFH
T	０５４H	サ	０BBH	ャ	０ACH
U	０５５H	シ	０BCH	ュ	０ADH
V	０５６H	ス	０BDH	ョ	０AEH
W	０５７H	セ	０BEH	ァ	０A７H
X	０５８H	ソ	０BFH	ォ	０ABH
Y	０５９H			゛	０DEH
Z	０５AH			゜	０DFH